

あいのう消費者の会

いきいき通信

発行 愛農消費者の会いきいき通信編集部
 連絡先 愛農流通センター名古屋本部
 名古屋市天白区井口2丁目903番地



毎回子どもに大人気の知多セールの餅つき

九月二十日十時〜十八時まで、知多郡東浦町の愛農流通センター知多営業所でセールがありました。秋らしい気候が一転、この日は夏の様な暑さでした。

今回はお菓子のつかみ取り、りんごの詰め放題、新米の先行販売、あいのう親鳥で作ったソーセージ「鶏ソー」の販売等がありました。楽しみにしていたりんごの詰め放題は好評だったようで、午前中に終了してしまいました。次回のセールでは、是非、数を増やして再び登場させてほしい物の一つです。鶏ソーは外側パリッと歯ごたえも良く、肉の味が実感できおいしかったです。

試食は干物、ルイボステイ、生

りんごの詰め放題や餅つきが人気 知多セールレポート



パスタ等ありました。『マップアルディーネ』という縦10cm×横1.5cm程で、ホルモンのように両脇がヒタになっているおもしろい形の生パスタを初めて見ました。イタリアでも最近出てきた物との事です。「生麺は乾麺よりも茹でた後くっつきにくいので、サラダに最適」とエコロジさんに教えてもらいました。どのメーカーさんも購入する、しないに関わらず親切に説明してくれるので楽しくお話できます。

十二時頃からは餅つきが始まり、集まってきた子ども達が順番につかせてもらいます。つきたてのきなこ餅を皆でおいしくいただきました。

午後からは人出も落ち着き、ゆっくりと買い物ができます。駐車場は店前がいっぱいでも、近くの東浦町役場の駐車場が使えるので、今まで困ったことはありません。

あいのうではセールに関し意見や要望を募集しているので、普段何気なく思っている事などを伝えて、もっとワクワクするイベントになれば楽しいですね。(ゆ)

(編集部からお知らせ) 次号では天白店のセールの模様をお伝えします。お楽しみに♪

セール 私はこう楽しんでます♪

消費者の会メンバーに、セールの楽しみ方を聞きました。

♥初めて行ったのは長女が3歳くらいの時。10年以上も前のこと。天白店では人、人、人。レジに並ぶ大行列。ベビーカーも使えない。お店に行ったことを心から後悔したことを鮮明に覚えています。

2度と行かないと思い、宅配だけの利用をしていた私が、なぜ今やセールのとりこになったのか。それから数年後、混まない時間を狙って(お餅つきの時間を外し)、勇気を振り絞り行ってみたら、なんとすぐレジだったのです。あの時は本当にうれしかったです。

引越しをし、知多セールへ行くようになりました。天白店に比べれば猛烈に混んでいることもなく、楽しく買い物ことができました。子どもが徐々に大きくなり、兄弟も増え、お餅つきを体験させたいという思いから、お餅つきの時間の前後に買い物をするよう

になりました。

今や事前予約もあり便利になったセール。試食も増えました。こどもは試食を楽しみに、図々しく試食を狙う子どもたちに私は冷や冷やしながらか、楽しく買い物につきあってくれる姿に安心しながら、ゆっくり買い物ができるようになりました。

先月のセールでは、お餅が出来上がったころに行き、お餅に舌鼓しながら買い物をしました。子どもを3人連れて行っていたセールも1人だけに。子供の成長と共にセールの楽しみ方も変化してきた今日この頃です!(まっちい)

♥セールの楽しみ方ですが、開催中に行ける時間に行き、予約注文品を受けとる!という感じです(((^_^;))子供の習い事の合間に行くことが多いです。セールで必ず買うのは鯉節とたまり、有機味噌パスタやレトルトです。時間があるときは野菜、たまごを買います!雑貨では歯ブラシ。子供はお菓子のつかみ取りを楽しみにしています(*^_^*) (Mickey)

セールについての疑問 聞いてみました！！
(前半)

消費者の会でセールについての疑問を、愛農に聞いてみました。

Q. セール会場にいるメーカーや生産者はどのように決めるのですか？

A. (知多) 力を入れて販売したいものを知多店で決めて、メーカーさんに声を掛けています。基本的に知多店が選んで声を掛けますが、黒怒さんやムソーさんが独自で声を掛けて来られるメーカーさんもいらっしゃいます。お客様からリクエストがあれば声を掛けることは可能ですので、是非リクエストください。

(天白店) 生産管理部(愛農の生産者の窓口です)や問屋さん等から出店可能な生産者、メーカーを教える、店舗スタッフで相談して決めます。消費者の皆さんからのリクエストがあれば、メーカーも生産者も直接交渉しています。

A セールの目的や売りたい物を教えてください。何に重点を置いているのかいまいち分からないのですが。

Q (知多) あいのうでも日々悩んでいる課題です。ただの安売りではなく、いつも買わない商品をお試しの感覚で買って頂ければと思っています。特にPB商品は愛農でしか買えない商品ですので、力を入れたい部分です。ただ試食等だけではパツとしないので、お客さんに楽しんで頂けるように模擬店やセール限定企画を立てるので、ポイントが分かりにくくなっているのかも知れませんね。

(天白店) 基本的には、春夏秋冬の各シーズンをイメージしています。テーマは毎回スタッフで相談して決めています。売りたい物、お勧めしたい物は、その季節の農産物です。

本の玉手箱 ささきますみ

「東京近江寮食堂」 渡辺淳子 2015.3 光文社 1,728円

書店の新刊平積みでおもしろそう！と思い、読みました。舞台は谷中にある、滋賀県の寮。いろいろな事情を抱えた人間模様。近江料理や、素朴でおいしく手がかった毎日の食事を通して、人生を考えさせてくれます。何でもないような、でもきちんと作った食事の大切さも味わえる小説です。ちょっと疲れた時に、ほっとできるお話はいかがでしょうか。

子どもの声にいつもの風景がさらに輝いて
自給村だより



子どももいっしょに稲刈り

9月。稲穂が黄金に輝き垂れてきました。畑では夏野菜が終わり、秋冬野菜の始まりです。一気にかぼちゃの収穫を行ったところ積み上げた山が崩れるほど、数え切れないほどたくさん収穫できました。枝豆は枝と葉ばかりが成長しすぎ、諦めていましたが、小さな実が付いているのを発見。かき集めて塩茹でしたところ、小粒ではありませんが、味の濃い美味しい枝豆でした。

秋冬に向けて、大根、人参、かぶ、ほうれん草、の種をまき、白菜、キャベツの苗を植え、ジャガイモを植えつけました。これから、玉ねぎ、ブロッコリーなども植えていく予定です。

収穫した落花生は大粒の実がなり、金ゴマももうすぐ収穫です。そしてやっと、稲刈りも始まります。9月27日には、稲刈りイベントとして30名の方に稲刈りと芋掘り体験をしていただきました。お昼ご飯は自給村で採れた野菜を中心に50人でいただきました。田んぼや畑に小さい子どもたちの楽しんでいる賑やかな声が聞こえて、いつも見ている自然豊かな風景がさらに輝いて見えました。

これから、稲穂からお米になるまでを学び、秋冬野菜の育つ様子を学び、まだまだ足繁く自給村に通う日々は続きます。自給村の日々の様子をつけています。どうぞご覧ください。

<https://www.facebook.com/jikyumura>

編集後記

◎セールアンケートにたくさんの方が意見を寄せてくださったことに驚きました。愛農としては費用対効果を考えた場合、全ての意見を取り入れることは難しいとは思いますが、取り入れてもらえる方法を考え、今後も要望していきたいと思っています。(M)

◎セールのことをみなさんが楽しみにしておられることが良くわかりました。ただ、「行きたいけど〇〇で行けない」という方もたくさんだったので、何か良い方法を考えられたらとも思いました。(K)

◎もっと良くなるように…との思いが伝わってくるセールアンケート内容でした。勉強会などの場で消費者間の交流が深まり、活発な意見交換ができるのもっと良くなる気がしました。(ゆ)